

液化室だより

東大物性研究所 <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/>

柏キャンパスでの高圧ガス管理について

柏キャンパスでは、高圧ガス(寒剤、ボンベ、製造設備等)の一括管理※1をしており、柏キャンパスのルールに従って使用する必要があります。原則として東京大学高圧ガス管理規定を遵守し、柏キャンパス高圧ガス管理マニュアルに従った管理をすることになっています。

最近、柏キャンパスのルールを理解していないと思われるケースが見受けられますので、今一度ルールを確認し、適正な管理にご協力ください。また、正しく安全にボンベを取り扱って下さい。

なお、柏キャンパスの高圧ガス管理は、UTCIMS稼働後も暫くは独自の管理システム※3を使用しますので、ご注意下さい。

1)高圧ガスを使用するには、必ず指定の講習会※2を受講する。

【重要】研究室責任者や共同利用等で一時的に利用する者も必ず受講する。

2)高圧ガスボンベは、物性研究所低温液化室を通して購入、返却等を行う。

ボンベは、右図にあるように、在庫品と特注品として管理している。購入等は、柏キャンパス独自の管理システム※3を使用して行う。

3)高圧ガス製造設備を設置する場合には「変更許可申請」等が必要である。

【重要】必ず事前に、物性研低温液化室に相談すること。

【高圧ガスの製造(変更許可等が必要)になる事例】

- ①ボンベから圧力調整器を使って1MPa以上のガスを装置等に供給する。
- ②圧縮機等を用いて、1MPa以上の圧縮ガスや液化ガスを装置等に供給する。
- ③ボンベ等のガスを何らかの方法で液化する。

4)その他

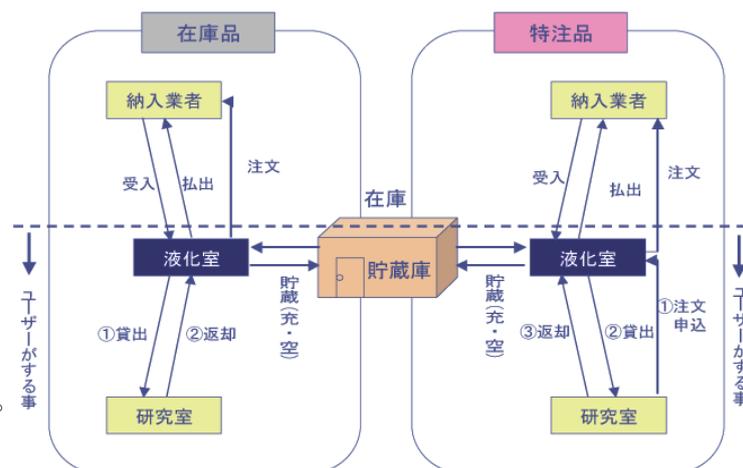
高圧ガスの取扱には十分注意し、使用前やレギュレータ取付の際に漏洩検査をする等、安全に配慮する。また、1)可燃性ガスの周りには、燃える物などを置かない、2)毒性ガス等を使用する際には、シリンダーキャビネット等の除外設備を設置する、3)減圧弁や圧力計、ガス検知器など、設備等の点検を定期的に行う、といった対策を講じる。

※1 部局毎の管理ではないので、他キャンパス等から実験に来る人も柏キャンパスのルール(管理)に従った取扱をする必要があるので注意する。

※2 指定の講習会 <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/lecture/index.html>

※3 高圧ガスボンベ管理システム(Gas Cylinder Management System)

<http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/cryogenic/cylinder/>



液体ヘリウム供給価格の変更

11月使用分から、液体ヘリウムの供給価格を50円値下げします。詳細は、右の表を確認して下さい。

窒素・ボンベについては、価格の変更はありません。

令和元年度 寒剤供給価格

	所内	所外
液体ヘリウム	330円/L	350円/L
液体窒素	25円/L	35円/L
ヘリウムボンベ (47L, 99.99%)	27,975円/本	